

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	夜間の車内での空気呼吸器の着装について
3. 体験した事例の中心的要素	夜間の火災出動途中で車内で空気呼吸器を着装しようとした際、要救助者へ空気を供給するマスク（レスクマスク）と呼吸器本体を固定するバンドが車内部分に引っ掛かり空気呼吸器が背負えない状況であった。
4. 体験した事例の原因・理由	朝、夕の点検時を含め、空気呼吸器の作動点検のみならず、実際に背負ってみて、バンド等の異常や引っ掛かりがないかを確認しなかったこと。

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

.....

1. 発生日時	平成 20 年 6 月 7 日 午後 11 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：出動中の車両キャブ内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	有害物と接触
7. 事例体験時の活動	火災、出動途上 [その他：なし]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	資機材搬送・使用
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢 [33] 歳、 勤続年数 [10] 年、 現場経験年数 [5] 年、 階級 [消防司令補]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢 [] 歳、 勤続年数 [] 年、 現場経験年数 [] 年、 階級 []、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢 [] 歳、 勤続年数 [] 年、 現場経験年数 [] 年、 階級 []、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	空気呼吸器を着装しようとした	
経過 2	当事者 A	バンドが引っ掛かり空気呼吸器が着装できないことに気がついた	
経過 3	当事者 A	バンドが引っ掛かりの原因を確認しようと試みた	
経過 4	当事者 A	車内が暗くバンドが容易に外れないことを確認した	
経過 5	当事者 A	他の方法で、離脱できないか検討した	
経過 6	当事者 A	レスクマスクのホースカプラーを離脱した	
経過 7	当事者 A	空気呼吸器を着装した	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

資機材の機能が適切だった。資機材の操作がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：資機材の点検確認の不足があった。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

出勤途中、消防車内にて空気呼吸器を
着装するときに、バンドが車内部分に
引っ掛かり空気呼吸器が背負えない状
況であった。

